

「水源の森づくり2016」を開催しました

月山ダム水源地域ビジョンは、「地域の持つ資源を再認識し、水源地域の環境を保全するとともに、新たな魅力を発掘・創出することで、水源地域の自立的・接続的な発展を図る」ことを基本理念として、平成17年10月に策定されました。

その後、7つの基本方針と、これに基づく具体的な施策により進められていましたが、時間の経過とともに全体の活動や連携が弱くなっていきました。

これに鑑み、水源地域ビジョンの基本理念及び方針の思想を継承しつつ、活動をより持続的なものとするため、平成26年12月に実施体制を見直し、「できることから」再始動いたしました。

まずは、ダムと関わりの深い「水」に着目し、その水を育む「森」を核とした「水源の森づくり」を展開し、そこから基本理念に沿った活動が派生していくよう、取り組みを進めて参ります。

■「水源の森づくり」とは■

水資源を利用する市民が、森の元となる樹木のタネの採取から、植樹・育林を自ら行い、水源となる森を醸成するものです。それらを通して身近な環境に触れ、また、資源としての水の成り立ちを学習することから、水源地域が持つ特徴を生かした、地域づくりの基となることを目指します。

～ キャッチフレーズ(案) ～

「フナとともに50年、森とつむぐ50年」

＜水源の森づくりイベント開催＞

「水源の森づくり2016」の活動として、ドングリ等、木の実の採集やタネ植えを行いました。

実施日：平成28年10月30日（日） 9：30～14：00

場 所：○ 月山ダム管理所（集合・受付：1F 地域防災センター）
○ 湯殿山スキー場・くわだいさくら公園

内 容：○ 講演「水源の森づくりってなんだろう」 山形大学 農学部 准教授 菊池俊一
○ 木の实と落ち葉拾い・森林観察・タネ植え作業

